

完成迫る海外工場

豪・比とも急ピッチ

三ヶ年計画完了時点、ことしの六月を目前に矢崎の海外資本進出は急ピッチだ。既存のタイ、台湾の増強につづいて新設の「矢崎トレス工業」(フィリピン)、「矢崎オーストラリア」の両工場も完成めざしてツチ音は高い。さらに米國も欧州も活発である。

マニラ

こちら就職難

首都マニラからカランバへ
へてタナワンへ通ずる国道一



◆白い平屋がメーターライン
と奥の二階建がビルテープ
工場。手前は現場事務所だ。

号線沿い、カランバから少し
タナワンよりの左側に「矢崎
トレス工業」の新工場が、い
ま急ピッチの突貫工事中。
二月下旬、機械設備が到着
して据付け、四月早々から調
練生産。五月本格稼働の予定
である。

主担当の海外事業本部・岩
本常務は次のように語る。

「マニラでは三十人求人し
ようとすればPRもしないで
どんどん集まる。みんな建設
関係や町の有力者の紹介状を
もってくるが、三百人も集ま
って選ぶのに一苦勞した。

学歴より労働の内容で賃金
が決まるから、なりに工員な
ら大卒も高卒も同一賃金
で、一万二、三千円というた
ころ。向うの銀行の副頭取ク
ラスの月給が約三千ペソ(十
二、三万円)だから、日本と
は全然事情が違っている。そ
の辺をよく考えないとネ。

就職難のせいからも知れない
が、みんなよく働くよ。」

責任を全うします

帰国したフィリピン実習生

矢崎・トレスの仲間15名が
昨年の6月8日に来日し、各
工場で七ヶ月の実習を終って
2月1日にフィリピンに帰国
した。フィリピン工場は、機
械の据付け等で、いま急ピッ
チで完成が急がれている。

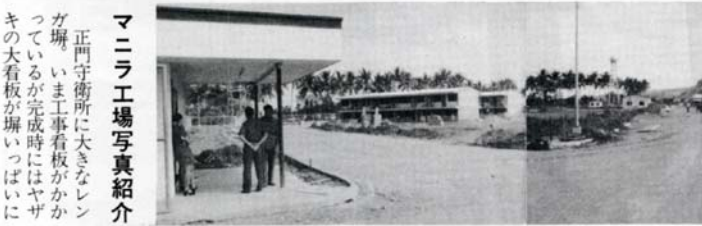
帰国前に開かれた壮行会の
席上で、ロケ君は「矢崎総業
は海外に進出しているが、わ
がフィリピン国の生活向上、
貿易の問題等で貢献して下さ
ることに感謝します。このプ
ロジェクトは必ず成功させる
という信念を感じるし、私達

飾られるはず。左手はヤシ
に囲まれた杜宅棟、奥の右
手が第一次計画の生産工場
である。内部配線はすべて
YCケーブルの地下埋設。
背後は、白雲たなびく緑
のマツキン山である。



マニラ工場写真紹介

正門守衛所に大きなレン
ガ塀。いま工事看板がかか
っているが完成時にはヤサ
キの大看板が塀いっぱい



竹竿を使ったバンブータクス
を染むフィリピン実習生。

気をかもしだす中で、マクビ
タ君に、日本の印象を聞く
と……
「日本人はガマン強い、どっ
してかという、日本人は子
供が2人しかいないがフィリ
ピン人は多勢の子供(8、9
人)がある。だから日本人は
ガマン強いと思う?……
「家は小さいが、土足であが
らないのではキレイ」
「日本人はいつも忙しい人で
ある」と感想を述べてくれた。
食事で気に入ったものは天
婦羅・カツ丼・スキヤキで、
ビールは薄いそうである(フ
ィリピンのビールは16度もあ
る)。お土産は着物を買いた
いと思ったが値段が高いし、
着る時がない(いつも暑い
ので止められたけれど、ステ
レオはほとんど全員が買った
そうである。
最後に「皆さん仕事のこと
を心配してくれますが、大丈
夫です。これは我々のライフ
だし、頑張って給料を上げる
努力をしないと結婚したとき
に奥さんと子供がかわいそう
だから……」とのことでした。